

## 京大とANAが 環境教育で連携 市民植林活動など

京都大フィールド科学教育研究センター(京都市左京区)と全日空(本社・東京都港区)は21日、環境教育分野で連携することで合意し、京都大で調

印式があった。全日空が各地で進める市民参加の植林活動に合わせ、京大教員が現地で講義する「青空塾」を開くなど、航空会社の企画力と大学の知的

蓄積を融合させる取り組み。

同センターは、京都府や北海道など全国9カ所に研究林や臨海実験施設などがあり、教職員スタッフは約80人。

一方、全日空は航空機の排ガスなどで環境に負荷をかける企業として、今年から国内約50空港の近くに植林する「森づくり活動」や、沖縄でのサンゴ

再生プロジェクトなどに取り組んでいる。

連携は昨春、同センターの専門家が森林保護へのアドバイスをしたことが

きっかけ。今後は「青空塾」のほか、市民公募で森や海の現状を知る「エコツアー」の共同開発などのアイデアが出ている。

【野上哲】